

第6回日経 Well-being シンポジウムに登壇しました

森永乳業グループは、昨年「ウェルビーイングステートメント」を策定し、「日本版 Well-being Initiative」への参画に加え、社内のサステナビリティ委員会内にウェルビーイング部会を設置するなど、ウェルビーイングに関する取り組みを進めています。

その一環として、昨年に続き10月4日に開催された、株式会社日本経済新聞社主催の「第6回日経 Well-being シンポジウム」に登壇しました。シンポジウムでは、国連のSDGs(持続可能な開発目標)の期限である2030年以降を視野に入れた「ビヨンド SDGs」をテーマに、「Well-being トランスフォーメーションでつかむ商機」と題して、公益財団法人 Well-being for Planet Earth 代表理事の石川 善樹氏と、森永乳業 取締役 常務執行役員 営業本部長の兵働が他2社とともにパネルディスカッションを行いました。

パネルディスカッションでは兵働より、森永乳業の研究は赤ちゃんの健やかな健康を願うことが原点にあり、森永乳業グループの考えるウェルビーイングに貢献する要素である「安心、健康、幸せ」について、商品を通じてサポートしていきたいことを説明しました。



パネルディスカッションの様子(石川善樹氏(左端)、兵働営業本部長(右端))



森永乳業の歩みを説明する兵働営業本部長

森永乳業グループは、コーポレートスローガン「かがやく“笑顔”のために」のもと、サステナビリティ経営の実現を目指し、「『おいしいと健康』をお届けすることにより、豊かな“日常・社会・環境”に貢献し、すべての人のかがやく笑顔を創造し続けます」というサステナビリティビジョンを掲げています。このサステナビリティビジョンの実現に向けた活動を推し進めるべく、2022年に「サステナビリティ中長期計画 2030」を策定しました。これからも企業活動全体の中でウェルビーイングの浸透を図り、実践していくことで、私たちや人びとのかがやく“笑顔”の実現に向けて取り組みを進めてまいります。